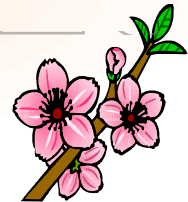


## さくらメール



### なぜ夢は大切か？

昔から大人はよく、子どもにむかって「夢を持ちなさい」と言います。では、なぜ夢を持つことがそんなに大切なのでしょう。

私は、夢を持つことによって得られる利点は、大きく2つあると思います。

その1つは、夢を持つことによって今の生活を設計することができるということです。例えば、ある子が将来自分は、こういう職業に就きたいという夢を抱いた時、その夢を実現するためには、今どうしたらよいか、どう生きたら良いかを考えなければならなくなるでしょう。もしそれを考えずに、ただ頭の中で自分の夢を思い描いているだけなら、それこそ、夜見た夢が目覚めたときに消えてしまうように、実現は不可能です。

このように、自分の”あるべき姿”である夢をもつことによって、今の生活を振り返り、それを前向きな姿勢で過ごすことができるのです。

それから夢を持つもう1つの利点は、その人の”自己統御力”を育ててくれることです。

私たちの世の中にはいろいろな人が住んでいます。しかし、皆が夢の実現に協力してくれるわけではありません。その人の欲望、特に夢の実現を阻む欲望（例えばテレビを見たい、メールがしたいという欲望など）などこの世の中にはさまざまな欲望を刺激する”物や情報”にあふれています。

そんななかで、自分の夢を実現するためには、自分の中で、さまざまな欲望と戦い、いつも自分の心を、夢の実現の方向へ向け続けていかなければいけないのです。このような努力を日々重ねることで、いつのまにか自分を統御する力が身につくのです。

今の自分はどうでしょう。さまざまなことに流されてはいないでしょうか。

先週、「10年後の私」という作文を書きました。「パン屋さんになりたい」「ブライダルコーディネーターになりたい」「カウンセラーになりたい」など具体的な夢がある一方で、「夢がない」という人も学年で4割ぐらいいました。

この機会に、ぜひ親子で「夢」について話し合っていたいただきたいと思います。

ある会社が企画した「10年後の私」の作文を下に掲載しました。

### 『ツヨク、ヤサシク』

昨日、学校帰りの駅で車イスの人が階段で困っていた。そこには自分に「今日は急いでいるから仕方ない。」と言い聞かせ、見てみぬフリをして電車に乗る自分がいた。その日の授業で、明日将来の自分についての作文をやると聞いた僕は、帰りの電車の中で、自分の夢について考えていた。そんな時、急に罪悪感にさいなまれた。そう、僕はさっき困っている人を見捨てたのだ。それも、自分には適当な言い訳をして、本当は面倒くさいからとか恥ずかしいからとか、そんな下らない理由で。しかも、さっきが初めてなワケでもない。何回目だろう。今までに数えきれないほど何回も見てみぬフリをしてきた。僕はそんな自分が情けなかった。その時僕は、自分の夢はしっかり決まっていらないが、困っている人より自分の下らない見栄とかを優先するような、下らない大人にはなりたくないと思った。僕は、そんな時に自分の都合よりも他人のことを考え行動するようなツヨク、ヤサシイ大人になりたいと思った。

僕が欲しい強さは、力とかじゃない。心のツヨクが僕は欲しい。僕は以前友達という時も同じ様な状況で同じ様に見てみぬフリをしてしまった。その時は友達の前で困った人を助けたりしたら、きざに思われそうで嫌だった。そういうのが心のヨワサだ。今の僕はとてもヨワイ。いつもそんな事ばかり考えてしまう。だからツヨクになりたい。そしてヤサシク。それも優しさとは違う。自分を犠牲にして人を助けてこそヤサシクだと思う。例えば、100万円持っている人が「余っているから1万円あげる」と貧しい人にあげたお金は優しさかもしれないが、ヤサシクではない。だが、1万円しか持っていない人が「1万円しかないけどあげる」と貧しい人にあげたお金はヤサシクだと思う。僕はそんなヤサシクを持てるようになりたい。そんなツヨク、ヤサシイ大人になるのが僕の夢だ。

## これからの進路にむけての心がけ

### ●十分な話し合いを

「うちの子どもに合うところに行かせてください。おまかせします。」では困ります。ご家庭で親子ともども、常日頃からよく話し合い、自主的に進路を選んでほしいと思います。進路選択権は生徒と、保護者の方にあるのです。担任はそのお手伝いをするアドバイザーなのです。

### ●見て歩く

「百聞は一見にしかず」ということわざが昔からあります。「百回他人から聞くより、一回自分の目で見た方がよくわかる」という意味です。ぜひ自分で出かけ、自分の目で見て判断の材料にしてほしいと思います。受験案内の本や他人の話だけで自分の受験先を決めてしまうことのないようにしてください。学校や職場を直接見て、そこへ足を運んでよく話を聞いて、自主的に判断してください。すでに学校にも高等学校や専修学校の体験入学の案内がきています。順次生徒には教室掲示やこの進路だよりを通して連絡をしていきますので、積極的に参加をしてほしいと思います。申込用紙は教室に置いてありますので、必要事項を記入した上で担任の先生に渡してください。

公立高校の体験入学は5月頃来る予定ですが、申し込み締め切りが1学期中で、体験入学が夏休みの学校がほとんどです。申し込みに遅れないようにお願いします。体験入学の案内は今後も「さくらメール」に載せていきますので保護者の方もご覧ください。

### ●何はともあれ学力アップ

勉強を怠け、授業中も注意力散漫、ノートもとらず、教科書も持ってこない、宿題はやってこない、授業中は居眠りをしている。

こんなことでは、受験案内の本をいくら見ても自分の進路は開けてきません。長い間の地道な努力が進路を切り開く唯一の方法なのです。生徒たちにはまじめに、精一杯の努力をしてほしいと思います。

学習の内容で質問があったら遠慮しないで聞いてください。

学校で行われる検定などにもチャレンジしてほしいと思います。



### ●おわりに

「どこへ行きたいの?」「ここへ行きたい」「そうかい。じゃあそうしましょう」

・すべてこういけば苦労はありませんが、世の中そんなに甘くはありません。

どんな進路に進むにしても、自分の希望だけで決定していけば苦労はないのですが、受け入れる相手があることを忘れてはいけません。

進学を希望している生徒が多いように聞いていますが、その関門はどうしても学力が重要な要素になってきます。したがって、自分の希望をかなえるために毎日の学習の積み重ねが大切になると思います。

また、日常生活においても校則や法律を守り、規律ある生活を送ってください。(遅刻はしていませんか?掃除はしっかりやっていませんか?家の手伝いはしていますか?いじめはしていませんか?)

そして、触法行為(中学生でよくあるものは喫煙、万引き、飲酒、無免許運転、薬物使用等です。残念なことです)は絶対にしないでください。進路選択決定に影響することはもちろん、自分で自分の価値を下げることにもつながりますので、触法行為は絶対にしないように。後がたいへんです。

就職希望の生徒は学力はもちろんですが社会人として立派にやっていけるだけの一般常識があるかどうかがとても大切になってきます。

言葉遣いが悪かったり、遅刻や欠席が多かったり、まじめに取り組む姿勢が欠けた態度では、社会に出てやっていける可能性は低いでしょう。もちろん採用する会社側の人にとっては不安な気持ちにかられることでしょう。ここ数年、就職はとても厳しい状況にあります。今年も昨年とあまり変わらない状況になると思います。会社から「ぜひ、うちに来て働いてほしい」と言われるような人になってほしいと思います。

